

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況等を
短くまとめて紹介します



ニューヨーク事務所

さくら祭りージャパニーズストリートフェスティバル in ワシントン D.C. でのブース出展

2023年4月15日から16日にかけてワシントンD.C.で開催された「さくら祭りージャパニーズストリートフェスティバル」において、クレアニューヨーク事務所は昨年に引き続きブース出展しました。このイベントは毎年3月から4月にかけてワシントンD.C.で開催される「National Cherry Blossom Festival」の最終週に、連邦議会議事堂から延びるペンシルバニア・アベニューの3番から7番通りを封鎖して行われています。

会場に設置された4つのステージでは、空手や剣道といった日本武道、太鼓や踊りなどの各種パフォーマンスが披露され、ストリートではブースでの物販や、日本食品の試食・試飲などが行われました。クレアブースでは、事前に日本の自治体から収集したプロモーション資料を立ち寄った来場者に配布しました。昨年は外国人観光客が日本へ入国することはできなかったため、「いつ入国制限が解除されるのか」と質問されることが多かったのですが、今回は具体的に日本への旅行の時期や訪問先が決まっている来場者も多く見られました。クレアブースを出展したBeyond Tokyoエリアでは、JNTO（日本政府観光局）、沖縄県ワシントン事務所なども出展しており、旅行先としての日本の魅力を熱心にPRしていました。



会場の様子



クレアブースで記念撮影する来場者



ロンドン事務所

海外 PR 用 Instagram アカウント「Local eyes Japan」をご活用ください！

クレアロンドン事務所が開設する海外 PR 用 Instagram アカウント「Local eyes Japan (@localeyesjapan)」で、地元の魅力を欧州に発信しませんか？（URL：<https://www.instagram.com/localeyesjapan/>）

英国をはじめ欧州では、日本食や日本ならではの美しい風景など、日本への関心がますます高まっており、その中では「まだあまり知られていない、ガイドブックにも掲載されていないような隠れた地域の魅力を発見したい！」という声も多く聞かれます。この好機に地元ならではの魅力を発信しましょう！

「Local eyes Japan」では、ご応募いただいた日本全国の名所や美しい景色、料理、文化など、その地域を熟知している自治体の皆様だからこそ知り得る、まさに日本の隠れた魅力を多岐にわたって発信しています。これまで、PRに役立つツールとして多くの自治体の皆様にご利用いただいております、順調に投稿数、フォロワー数ともに増やしているところです。

ご応募にあたっては、専用の投稿用フォームをご用意しているほか、投稿文の英訳もお手伝いしており、日本語でお気軽にご利用いただけます。

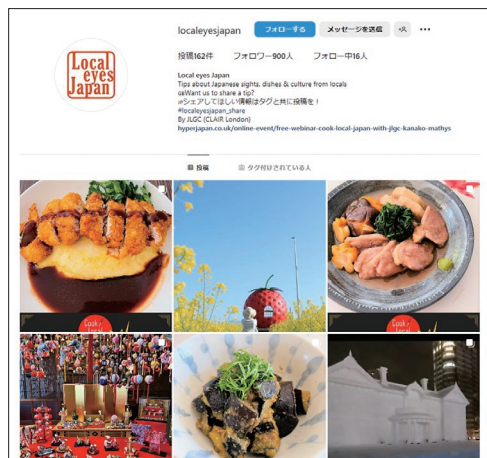
また、自治体の公式 Instagram をお持ちの場合は、投稿写真にアカウントをタグ付けすることも可能で、貴自治体のアカウントをPRする場としてもご利用いただけます。

ご応募は通年で受け付けていますので、ぜひご利用ください！投稿をご希望の場合はクレアロンドン事務所までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】クレアロンドン事務所
Mail：apply@jlgc.org.uk



Local eyes Japan
二次元コード



@localeyesjapan



パリ事務所

天皇誕生日祝賀レセプション（パリ）にクレアブースを出展しました！

2023年3月29日、パリの日本国大使公邸で天皇誕生日祝賀レセプションが開催されました。同レセプションには、シャルトル市などのパリ近郊の自治体関係者のほか、日本との交流に携わっている多くの方々が来場しました。

クレアパリ事務所は同レセプションにブースを出展し、日本の自治体のプロモーションと日本酒、かりんとうの試飲・試食を行いました。会場内の他のブースでは、和牛、餃子、和菓子などの試食、日本茶などの試飲が行われ、日本食の魅力を発信するさまざまなブースに多くの方が訪れました。

来場者の中には、日本へ10回以上訪問した方もいて、日本を訪れた時の思い出を熱心に話され、「近々また日本に行きたいので、お勧めの都市を教えて欲しい」などといった訪日を見据えた質問が寄せられました。また、「日本酒の独特の香りや風味が大好きだ」と言う日本酒のファンも多く訪れました。

クレアパリ事務所では、今後ともフランスにおいて日本の自治体や各地域の魅力をしっかり発信してまいります。



クレアパリブースの様子



ブース訪問者へ自治体のプロモーションを行うクレアパリ事務所職員



ソウル事務所

韓国からの新しい国際交流員が日本へ赴任しました！

2023年4月9日、新たに8名の方がJETプログラムにCIR（国際交流員）として参加するため、韓国から日本へと旅立ちました。

赴任前にソウル市内で行われたオリエンテーション・壮行会では、在大韓民国日本国大使館やJETAA（JETプログラム経験者で構成される組織）韓国支部の方々の話に熱心に耳を傾けながら、日本での勤務に万全の準備を図るCIRの様子が見られました。

韓国では中学生から授業の一環で日本語を学習することも多く、特に若い世代における日本への関心の高まりは目を見張るものがあり、JETプログラムの応募者のレベルも年々向上しています。

今回のCIRの皆さんも日本への留学経験が豊富であったり、日本の文化に精通していたりと、語学力はもちろんのこと高いレベルで日本への理解を有しています。

厳しい競争を勝ち抜いた新たなCIRの皆さんが日本の自治体に新たな風を吹き込んでくれることを期待しています。



オリエンテーション・壮行会の様子



北京事務所

中国のJET青年たちが日本各地へと旅立ちました！

2023年4月8日、北京市の在中国日本国大使館において、新たにJETプログラムに参加する19名に向けた、渡航前オリエンテーションおよび壮行会が開催されました。

オリエンテーションでは、クレア北京事務所長が日本の地方自治体についての講演を行いました。質疑応答の時間には、日本の地方自治体の仕組みなどについて、熱心に質問する参加者の姿が見受けられました。

その後の壮行会では、JETプログラム経験者との交流会も併せて行われました。コロナ禍により4年ぶりの開催となった壮行会では、大使から激励の言葉が贈られると、参加者の代表からは「両国の本当の姿を伝えられる架け橋のような存在になりたい」と力強い抱負が述べられました。また、交流会では、期待に満ちた顔でJETプログラム経験者からのアドバイスや経験談に聞き入る参加者の姿が印象的でした。

参加者たちは、今後1年間、日本の各地方自治体で働くこととなりますが、それぞれの場所で、日中友好に向け活躍することが期待されます。



参加者の集合写真



シドニー事務所

ニュージーランド姉妹都市協会（GCNZ）年次総会 2022 開催！

2022年11月10日、ニュージーランドの首都ウェリントンにおいてニュージーランド姉妹都市協会（GCNZ）年次総会2022が開催され、ニュージーランド各地から多くの姉妹都市交流関係者が集いました。今回の年次総会は、日米韓中の各国とニュージーランドの外交関係樹立から節目の年（米国80年、日本70年、韓国60年、中国50年）を迎えたことを記念するものでもあり、日米韓中の各国大使がプレゼンテーションを行い、ニュージーランドで姉妹都市交流を担う市民がパネルディスカッションを行うなどして、年次総会の開催に花を添え、姉妹都市交流に関する意見交換が行われました。

クレアシドニー事務所職員は、GCNZ 名誉会長などのGCNZ 役員をはじめとしたニュージーランドの姉妹都市交流関係者と交流を深め、ニュージーランドにおけるネットワークをさらに強固にすることができました。

クレアシドニー事務所は、引き続き、GCNZ と連携し、日本とニュージーランドの間の姉妹都市交流の充実に寄与してまいります。



駐ニュージーランド大使によるプレゼンテーション



姉妹都市交流関係者によるパネルディスカッション



シンガポール事務所

2019年以降の開催！フィリピン JET プログラム帰国者歓迎レセプション

2023年3月11日、在フィリピン日本国大使館とクレアシンガポール事務所との共催により、フィリピン JET プログラム参加者の帰国者歓迎レセプションが開催されました。

フィリピンで今回のような JET プログラム帰国者歓迎会が開催されるのは2019年以来であり、越川駐フィリピン日本国大使をはじめ、フィリピン高等教育委員会や現地の日本人学校などの関係者が集まり、2020年から2022年に帰国した JET プログラム参加者を歓迎しました。歓迎レセプションでは、大使とフィリピン高等教育委員会からの歓迎スピーチに続き、代表して2名の帰国者が日本での体験談を交えながらスピーチを行いました。また、会場では JET プログラム参加者が日本で活動していた時の写真などもスクリーンで流され、お互いの日本での思い出を振り返りながら交流を深めていました。

また、歓迎レセプションの前には、JET プログラム経験者の同窓会組織であるフィリピン JETAA 支部のメンバー同士での交流会も別会場で実施されました。同支部のメンバーの多くは2020年から2022年に帰国した JET プログラム参加者でもあり、今回の交流会と帰国者歓迎レセプションの両方への参加を通じ、JETAA の Facebook で「思い出に残る土曜日になった」と紹介されるなど、貴重な機会となったようでした。



帰国者歓迎レセプション参加者集合記念写真



経済交流課

2022年度 助成金制度の活用実績を掲載しました！ ～海外販路開拓・インバウンド・国際協力～

クレアでは、自治体の海外販路開拓またはインバウンド対策の経済活動を支援する「経済活動助成事業」や、先駆的な役割を果たす国際協力事業を支援する「自治体国際協力促進事業（モデル事業）」を行っています。

2022年度に本助成金制度を活用して実施した事業および詳しい助成内容をクレアホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

- ・経済活動助成事業 <https://economy.clair.or.jp/activity/grant/>
- ・自治体国際協力促進事業（モデル事業）

<https://www.clair.or.jp/j/cooperation/model/index.html>

いずれも、2023年度の募集開始時期は8月～9月を予定しています。

事業名	経済活動助成事業 (海外販路開拓支援事業・インバウンド支援事業)	自治体国際協力促進事業（モデル事業）
対象団体	都道府県／市区町村	都道府県／市区町村／地域国際化協会／NGO
助成額	助成対象経費の1/2以内で次の額を上限とする 1. 主に海外実施事業 500万円 2. 主に国内実施事業 300万円	助成対象経費の総額以内で次の額を上限とする 1. 一事業につき 300万円 2. 複数団体の共同事業 500万円

■お問い合わせ 経済交流課 Tel：03-5213-1726

Mail：（経済活動助成事業）keishin@clair.or.jp

（自治体国際協力促進事業）kokukyou@clair.or.jp



【八戸市】米国の食品市「Winter Fancy Food Show 2023」への出展支援



【鹿児島県】ベトナム・ハイズオン省へのエンジンの栽培技術に関するセミナー開催支援

JET プログラム事業部

96 名の新規 JET プログラム参加者が来日！4 月の来日直後オリエンテーションを開催しました

4 月から全国各地の任用団体に配置される新規 JET プログラム参加者に対するオリエンテーションを、4 月 10 日と 11 日の 2 日間にわたって開催しました。

JET プログラムでは、2022 年度には世界各国から参加した約 5,700 名が外国語指導助手 (ALT)、国際交流員 (CIR)、スポーツ国際交流員 (SEA) として全国で活躍しています。このたび、アメリカなど 13 か国から 96 名の新規 JET プログラム参加者が来日し、研修を受講しました。研修では、組織や地域に参加する心構えや日本のマナーから、学校での指導方法や翻訳・通訳業務のノウハウといった実践的な知識まで幅広く取り扱いました。2 日間の研修を終えた参加者は、新しい土地での生活に緊張しつつも、期待を抱いて各任用団体の元へ旅立ちました。今後の皆さんのご活躍を期待しています。



開会式の様子

交流親善課

3 年ぶりに対面式で海外自治体幹部交流協力セミナー（シドニー事務所管内）を実施しました！

2023 年 2 月 5 日から 14 日までの 10 日間、東京都と北九州市においてオーストラリアおよびニュージーランドの自治体や関係団体の幹部 4 名を迎え、セミナーを開催しました。東京都では、明治大学の木村俊介教授による日本の地方自治制度に関する講義を受けました。

北九州市では、「環境国際協力ならびに観光資源・インバウンド誘致」というテーマに基づき、北九州市エコタウンセンターや風力発電機などを視察し市の公害克服の歴史や SDGs に係る事業などの環境の取り組みについて理解を深めるとともに、有名な観光施設である皿倉山や小倉城などを視察し観光政策について学びました。

北九州市はアジア地域で初めて OECD（経済協力開発機構）の SDGs モデル都市に選定されるなど、資源循環型経済社会の実現に向けてさまざまな取り組みを積極的に行っています。参加者は、本セミナーを通して地域エネルギー政策について新たな知見を得るとともに、市民や企業などと一緒に SDGs を推進する北九州市の先進性に大変感銘を受けていました。



クレア主催の帰国前夕食会の写真

多文化共生課

多文化共生ツールライブラリーをぜひご活用ください！
～多文化共生の推進に役立つ各種ツールを登録・検索できます～

クレアでは、全国の行政機関や地域国際化協会などの団体が作成した多文化共生の推進に資するツールを集約したウェブサイト「多文化共生ツールライブラリー」を運営しています。

ツールライブラリーには、2023 年 4 月現在で約 200 件のツールを掲載しています。掲載ツールは、「やさしい日本語」の手引き、医療施設や災害時の避難所で使用するための多言語指差しボード、日本の学校制度に関する説明書、自治体が多文化共生にかかわる方針を作成する際に役立つマニュアルなど、さまざまです。

災害対策、子ども・教育、医療福祉、生活情報といった分野や、ツールが対応している言語、キーワードから、該当する掲載ツールを検索して、ご覧いただけます。

各地域で作成されたツールを掲載することで、他の地域でもご活用いただけるよう、随時ツールの提供を受け付けています。また、フェイスブックでは、毎週水曜日に、ランダムにツールをピックアップして紹介していますので、ぜひご覧ください。

URL : https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tool_library/

Facebook : <https://www.facebook.com/tabunka.clair/>



サイトはこちらから閲覧できます



多文化共生ツールライブラリー サイトページ

市民国際プラザ

ご相談を受け付けています

市民国際プラザでは国際協力、多文化共生の推進のため、自治体と NGO/NPO などとの連携を支援しています。相談も随時受け付けていますので、お気軽にご連絡ください！

■相談受付（電話、メール、来館、Zoom）

- ・多文化共生における自治体と NGO/NPO との連携など
- ・国際協力における自治体と NGO/NPO との連携など
- ・先進事例の照会
- ・SNS、メルマガでの広報について
- ・地域国際化協会
- ・国際交流協会の取り組みについてのご相談

<https://www.plaza-clair.jp/>

市民国際プラザ 検索

・来館、Zoom 相談は事前にご予約ください

・市民国際プラザは 6 階のクリア執務室内に移転しました